

第 40 回入学式式辞

今年は 3 月の後半に肌寒い日が続き、桜の開花もゆっくりでしたが、まるで皆さんの入学を待っていたかのように、麗かな春の陽射しの中、桜山の桜は見事に咲き誇っています。

本日ここに、ご来賓ならびに保護者の皆さまのご臨席を賜り、神奈川県立逗葉高等学校第 40 期生の入学式を、挙行できました事は、私たち全職員にとって大きな喜びです。

ただ今入学を許可された新入生の皆さん、改めて、入学おめでとうございます。

日本国憲法では、小学校・中学校までの教育は義務教育です。義務教育の義務とは、保護者が教育を受けさせる義務を負うという意味で、皆さんは教育を受ける権利を持つとされています。

しかし今、皆さんは権利として自動的に与えられたのではなく、自らの意思で、より高い知識や技能と深い教養を身につけるために高等学校で学ぶことを選び、さらに受検によって選抜されて、この場にいるのです。そして義務ではないにもかかわらず、皆さんの夢の実現に向けて、保護者をはじめ多くの方々が皆さん意思を尊重し支援してくれたお陰で、この場にいるのです。

このことの意味を良くかみ締め、皆さんを支援してくれた、そしてこれからも支えてくれる多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、自ら選択したことの責任を自覚して、本校での学習や様々な体験を糧に成長を重ねてください。

ところで今私は、皆さんが学ぶことを選んだと言いました。太古の昔から、すべての動物は、学習を重ねることで生き延びてきました。いかに食べ物を手に入れるか、いかに敵から逃れるか・・・様々なことを学んで身につけることは、生きることでもあったのです。

高度な文明を手に入れた現在の人類にとっても、学びは生きるための大切な活動です。いかに科学技術が発展しようと、私たちは食べなければ死んでしまいますし、病原体などの敵が私たち脅威であることには変わりはありません。ですから、世界中でたくさんの方が、例えば、より効率よく食糧を生産したり、医療技術を向上させたりするために、まさに生きるための学びに取り組み、その成果を実践しています。

さらに、学ぶという活動は、ただ生きるためではなく「正しく」生きるための手段を手に入れる活動であり、「正しく」生きるための選択肢を増やす活動でもあります。ここで言う「正しく」とは、「失敗しないように」とか「上手に」とかではありません。自分勝手な「正義」を振りかざして、自分と違う立場や意見の人を攻撃することなどでは、なおさらありません。

「正しく」生きるとは、自分は何をしたいのか、何ができるのか、何をすべきなのかを、自分自身に問いかけ、その実現を目指し、実行し、自らに誇りを持って生きることだ

と、私は思っています。そして、自分の周りには、自分同様に尊重されるべき多くの人々がいるということを忘れず、思いやりを持って生きることだと思います。

スマートフォンを操作するだけで、世界中の情報が手に入れられる現在、もし、皆さんが単に知識だけを手に入れようと思うのなら、学校という場集わなくとも、可能なのかもしれません。では、学校の役割は何でしょう。学校とはどのような場なのでしょう。

学校は、同世代の仲間が集う場です。様々な仲間の多様な個性や長所に気付き、仲間からも自分の個性や長所を教えられる場です。また、教師という大人が、教科の知識はもちろん、自身の経験を土台にした様々なことを、直接語りかけてくれる場です。人との関わり合いの中で、自分自身をよりよく知り、なりたい自分の姿を見つけるための様々な経験ができる場です。互いに相手を尊重することの大切さや、共に伸びていくことのすばらしさを実感できる場です。

つまり、「正しく」生きるための学びが、数多く提供される場なのです。

ですから皆さんは、この逗葉高校での出会いや経験を大切に、様々な交流を通じて、「正しく」生きるための手段や選択肢をできるだけたくさん手に入れてください。

学んだ知識や技能を活用する力や広い視野を身に付け、自分自身と周りの人たちを豊かにするような人になってください。それが、高等学校で学ぶ皆さんのミッションなのです。どうか力を惜しまずに、ミッション達成に向けて努力をしてください。

最後になりますが、保護者の皆さま、改めて、本日は誠にありがとうございます。またお忙しい中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、誠にありがとうございます。

逗葉高校は、日々「自ら考え判断できる力を伸ばし、豊かな人間関係の中で学べる学校」を目指し、職員一同一丸となって、誠心誠意、教育活動を展開してまいります。

保護者の皆さま並びにご来賓の皆様におかれましても、生徒たちの成長を温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願いいたします。

以上、本日入学された新入生の皆さんにとって、これから本校で過ごす3年間は、実り多く輝かしいものとなることを祈りながら、私の話を終わります。

平成29年4月6日

神奈川県立逗葉高等学校
校長 大貫 晶子